

平成29年（2017）6月8日～12日

平成29年度（2017）

第2回出雲市議会(定例会)  
一般質問通告一覧表

平成29年度（2017）第2回出雲市議会（定例会）  
 一般質問通告一覧表 目次

6月8日（木） 10:00 開会			6月9日（金） 10:00 開会			6月12日（月） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	伊藤 繁 満	3 ～ 4	1	飯塚 俊 之	10	1	湯浅 啓 史	17
2	錦 織 稔	5	2	後藤 由 美	11 ～ 12	2	玉 木 満	18
3	西 村 亮	6	3	寺 本 淳 一	13	3	神 門 至	19
4	福 島 孝 雄	7	4	川 光 秀 昭	14	4	山 内 英 司	20
5	大 谷 良 治	8	5	原 正 雄	15	5	今 岡 真 治	21
6	保 科 孝 充	9	6	児 玉 俊 雄	16	6	板 倉 一 郎	22

質問者	19 伊藤繁満		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 各種選挙における投票率凋落傾向の改善策について伺います			
<p>① 全国的に投票率の凋落傾向が続きその改善策が国、県レベルで行われています。先に行われた出雲市長選挙及び市議会議員一般選挙では、投票率が8年前に比較して約15%も低く、4年前と比較して約5%低い結果となっています。</p> <p>大方の予想を下回る結果であったように思いますが、投票率低下の要因は何か又、どのように評価されているか伺います。</p> <p>② 今回の選挙が、年度替わりの時期で入学、就職、転勤等で止む無く住所を移さなければならず投票に行けなかった方も相当数あると聞いています。新有権者の貴重な1票が行使できなかった一例であります。今回の出雲市長、市議会議員選挙ではこのような方は何人であったか伺います。</p> <p>法制度改正の要否について伺います。</p> <p>③ 今回の出雲市長、市議会議員選挙結果が全員協議会で提出されたが、無効票が市長選挙で2,469票、市議会議員が1,236票の計算数字となるが4年前の市議選より投票者数が4,633人減少しているにも拘わらず295人増加しているがこれらの原因が何に起因しているか伺います。</p> <p>④ 今回の選挙による地域別の投票率をみると  佐田81.84% (4.24%減)、  多伎76.01% (1.67%減)、  大社68.82% (4.43%減)、  平田68.54% (4.83%減)、  斐川62.94% (7.69%減)、  湖陵60.77% (1.1%減)、  出雲60.10% (3.9%減)  又、市内78区にある投票所に占める有権者数は、  大社ほっとうたほ56人、  平田猪目60人、  ほっと八千代のさと151人、  あさかぜ会館151人、  多い所で、  川跡コミセン4,986人、  伊波野コミセン4,662人、  高松コミセン4,614人  等と極めてバランスを欠いているし、1票の価値にも拘わる問題ではないかと考える。</p>		市長	

これを地域的に調べてみると佐田8箇所の投票所で1箇所あたり約379人の有権者数、多伎4箇所768人／箇所、大社7箇所約1,770人／箇所、湖陵3箇所約1,497人／箇所、平田16箇所約1,358人／箇所、出雲32箇所2,296人／箇所、斐川8箇所2,855人／箇所、多い所と低い所の差は7.5倍もの差がある状況は不公平そのものではないかと考える。  
格差解消を図るべきであるが伺います。

- ⑤ 投票率向上に向けた改善策を本年3月議会で答弁されているが結果は凋落傾向に歯止めがかかっていない。今後早急に取り組むこととして何が必要で何に取り組むのか具体策を伺います。
- ⑥ 今回の出雲市長選、市議会議員一般選挙においては、投票所の閉鎖時間が1時間繰り上げられ又、開票時間が従来より1時間早く始まったにも拘わらず開票時間終了時間が翌日の午前零時を超える時間と報告されているが通常としては市民の多くの方から遅すぎると批判がある。要因は何か。又改善すべき点を伺います。

質問者	7 錦 織 稔		答 弁 を 求 め る 者	記 事
質問事項・質問内容				
(1) 新規高卒者への就職支援と市役所職員募集について		市長		
<p>① 新規高等学校卒業生への雇用支援について伺う。</p> <p>ア 県内就職内定率85%の目標値を達成するための課題。</p> <p>イ 市内就職の希望者に対してどのような支援を実施しているか。</p> <p>ウ 市民満足度調査の結果（ニーズマップ）では「就職支援の取り組み」は重点改善分野だが、具体案はあるか。</p> <p>エ 出雲市と市内の高等学校との連携をさらに進める必要があると考えるが、具体案はあるか。</p> <p>② 市役所職員の募集と市職員採用情報について伺う。</p> <p>ア 高校卒業程度試験の採用において消防吏員はあるが、他の職種の採用はない。新規高等学校卒業生採用の考えはないか。</p> <p>イ トップページに採用情報を開設する考えはないか。</p>				
(2) 第3期出雲市教育振興計画について		教育長		
<p>① ふるさと・キャリア教育の成果について伺う。</p> <p>ア ふるさと・キャリア教育の評価方法。</p> <p>イ その教育の成果が得られているのか。</p> <p>② ICT機器導入について伺う。</p> <p>ア 機器導入の予算と導入計画。</p> <p>イ 導入に向けての教育課題、期待される教育効果。</p> <p>③ 教員の勤務状況の改善について伺う。</p> <p>ア 教員の勤務実態をどう認識しているか。</p> <p>イ 教員をサポートする専門スタッフの増員の考えはないか。</p>				
(3) バス交通の利便性向上について		市長		
<p>① バス路線網の再構築と運行について今後の方針を伺う。</p> <p>ア 出雲市には各種のバス路線があるが、それを市民にどのような方法で周知されているか。</p> <p>イ バス交通は高齢者だけでなく高校生からも利便性向上に向けての要望があるが、このたびの見直しで、市民のニーズをどのように把握し、反映するか。</p> <p>ウ バス交通ネットワーク構築から運用まで、今後のスケジュール。</p>				

質問者	17	西村 亮	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 地域振興策とコミュニティ活動について		市長	
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域振興施策</li> <li>② 出雲市自治会等応援条例の趣旨</li> <li>③ 地域応援補助制度の具体策</li> <li>④ 漁業施策の拡充</li> <li>⑤ 道路等の除草の助成</li> <li>⑥ 過疎債、辺地債の該当地域</li> </ul>			
(2) 少子化対策の拡充について		市長	
<ul style="list-style-type: none"> <li>① Iターン女性支援事業と移住促進助成事業</li> <li>② 未婚化晩婚化対策</li> <li>③ 婚活セミナー等サポートの充実</li> <li>④ 子育て支援</li> <li>⑤ 児童クラブ</li> <li>⑥ 学費、医療費の拡充</li> <li>⑦ 他の自治体との比較</li> </ul>			

質問者	15 福島孝雄		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 「ひきこもり」の社会復帰支援について		健康福祉 部長	
<p>① 出雲市における「ひきこもり」の現状を伺う。</p> <p>ア 各年代別の人数（男女別）と過去5年間の動向。</p> <p>イ 「ひきこもり」の人を抱える保護者（65歳以上）の世帯数。</p> <p>ウ 生活困窮世帯における「ひきこもり」の割合と今後予想される「ひきこもり」による生活困窮世帯の動向。</p> <p>エ 社会復帰が出来た人数（過去3年間）。</p> <p>② 出雲市における具体的支援を伺う。</p> <p>ア 今までの支援の成果。</p> <p>イ 「出雲市ひきこもり相談窓口」に来られる割合。</p> <p>ウ 訪問支援の状況。</p> <p>エ 今後の課題と対策。</p>			
(2) 出雲市農林業の今後の動向について		農林水産 部長	
<p>① 平成30年度からの米生産における「島根県農業再生協議会」と「出雲市農業再生協議会」「斐川町地域再生協議会」の関係と取り組みと、需給情報の発表時期を伺う。</p> <p>② 「GAP」の取り組みを伺う。</p> <p>ア 出雲市が取り組むGAPの種類。</p> <p>イ すでに取り入れている団体・個人の数。</p> <p>ウ 東京オリンピック・パラリンピックまでの申請目標。</p> <p>エ GAP指導員の状況。</p> <p>オ 出雲市独自の支援策。</p> <p>カ JAの各地区本部との連携。</p> <p>③ 森林・山村多面的機能発揮対策事業（新設）について伺う。</p> <p>ア 申請団体数の動向。</p> <p>イ 事業の目的。</p> <p>ウ 将来に向け持続可能となる収益の根拠。</p> <p>エ モニタリング調査の目的と実行性。</p>			

質問者	9	大谷良治	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 高齢者虐待について		健康福祉 部長	
① 高齢者虐待について ア 相談、通報届の件数 イ 対応後の状況 ウ 認定された件数と虐待の種別（内容） エ 市の取組と課題			
(2) 地域包括ケアの実現にむけて		健康福祉 部長	
① 本市の取組みについて ア 今までの取組の現状・今後の取組みと課題 イ 関係機関との連携			
(3) 消防団支援・加入促進について		消防長	
① 消防団支援の取組み ② 団員加入促進の取組みの現況と課題			

質問者	20 保科孝充			
質問事項・質問内容			答弁を 求める者	記事
(1) 国指定史跡荒神谷遺跡と史跡公園の整備状況を聞く。			市長	
<p>① 国宝出土30周年が経過した荒神谷遺跡周辺は、銅剣レプリカ等の一部紛失、あるいは出土地の劣化が進み、文化庁と協議され整備計画が進められている。協議後約2年半経過したその後の状況を伺う。また、公園の子どもたちのための遊具、全体で800本から1,000本といわれる椿の木の放置状態は見苦しい。どのような考えか伺う。</p> <p>ア 出土地周辺の整備計画を伺う</p> <p>    a 荒神谷遺跡整備改修検討委員会の検討状況</p> <p>    b 周辺整備調査の終了時期と整備計画</p> <p>イ 史跡公園の整備状況を聞く</p> <p>    a 放置状態の遊具改修計画</p> <p>    b 子どもの入園状況</p> <p>    c 椿の森の手入れ状況</p>				
(2) 新川元滑走路に設置される太陽光発電施設とその関連について伺う。			市長	
<p>① 新川元滑走路（東側部分約1ha）において設置工事中の太陽光発電設備は、周辺住民に何の説明も無いままに工事が進められている。</p> <p>事業者との連絡が取れない中で、安心・安全に対する大きな不安を抱いている。西側部分約2.7haについてはどのように考えているか。</p> <p>ア 太陽光発電を設置する場合の、行政としての役割について伺う。</p> <p>    a 国として大規模施設設置の指導義務は無いのか。</p> <p>    b 市への許認可等の協議事項の必要は無いのか。</p> <p>イ 条例・指導要綱等の制定について伺う。</p> <p>    a 他の自治体の状況を伺う。</p> <p>    b 今後、同じケースも考えられ、市として必要と思うかどうか。</p> <p>ウ 西側の2.7haについて、市として、例えば仮設住宅用地・緊急避難場所・駐車場等としての利用は考えられないか。</p> <p>② 今までは国の管理地として、あるいは売却後も、住民は生活の一部として使用していた。今後は南側に用地が確保されている道路部分が大きな役割を果たすことになる。</p> <p>    ア せめて、車等が安心して通る修繕は必要と思うかどうか。</p> <p>③ 地目は雑種地となっているが固定資産税はどのような状況か。</p>				

質問者	21	飯塚俊之	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 出雲縁結び空港の機能強化と利用促進策について		市長	
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 出雲縁結び空港が担う役割</li> <li>② 出雲縁結び空港の機能強化</li> <li>③ 出雲縁結び空港の利用促進策</li> <li>④ 発着枠時間延長、滑走路延長、新規路線・増便、国際線誘致、インバウンドへの取り組み</li> </ul>			

質問者	4 後藤由美	答弁を 求める者	記事
質問事項・質問内容			
(1) 市長の政治姿勢について		市長	
<p>① 安倍首相は、憲法9条に自衛隊を明記する改憲を行い、2020年までに施行すると宣言した。戦後の首相で在任中に改憲の内容、改憲の日程を公言した首相は今までにいない。この発言は「憲法を尊重し擁護する義務」を公務員に課した憲法99条に違反すると考える。憲法を守る市長の決意と、安倍発言に対する市長の所見を伺う。</p> <p>② 東京電力福島第一原発事故から6年が経過した。「収束」とはほど遠く、8万人以上の人々が避難生活を強いられている。原発再稼働反対は国民世論の多数となっており、島根原発2号機の再稼働など論外であり、破綻した「核燃料サイクル」との決別、「原発ゼロ」の決断が必要だと考えるが、市長の所見を伺う。</p> <p>③ 地方自治体の役割は「住民の安全、健康および福祉を保持し、増進を図る」ことである。市民の暮らしの実態を直視し、住民の暮らし・福祉最優先の市政が必要と考えるが、市長の所見を伺う。</p>			
(2) 子育て支援について		市長	
<p>① 日本の子どもの貧困率は増え続け、6人に1人が貧困となっている。大きな原因は子育て世代の所得減少がある。非正規労働者が増え、実質賃金が下がり続けている。行政が子育て支援を充実させ、経済的負担の一層の軽減を図るなど、自治体としての役割を果たすことが求められているが、市長の所見を伺う。</p> <p>② 現在、出雲市の子どもの医療費助成は県内で最も遅れた水準になっている。松江市は小学校卒業まで、大田市や雲南市など県内6割の自治体では中学校卒業まで無料になっている。出雲も中学校卒業まで無料にすることを求めるが、いかがか。</p> <p>③ 保育園の待機児童問題が深刻になっている。4月1日時点で出雲市の保育園待機児童は、去年の7人から大幅に増え78人になった。また「入所未決定者」は298人となっている。私は認可保育所の増設と保育士の労働条件の改善、この道こそ問題解決のあるべき姿だと思うが、市長の所見を伺う。</p>			
(3) 交通手段の確保について			
<p>① 市内では買い物や病院に行く手段がなく、困っている方がたくさんいる。タクシーは高い、バス停は遠いなど不自由な暮らしを強いられている。たとえば私の地元の稗原でも非常に困難な状況が広がっている。</p>			

<p>ア 住民の移動手段は、国や自治体の責任において確保されなければならないと考える。今の市内の状況について、市長の所見を伺う。</p> <p>イ 住民の交通手段を確保するため、住民のニーズを集約し、必要な交通手段を検討する住民参加の組織が必要と考える。現在地域にある「運行協議会」との協議で、解決の方法が見いだせていると認識しているのか、所見を伺う。</p>	<p>市長</p>	
--	-----------	--

質問者	13 寺本淳一	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者
(1) 民生・児童委員活動支援について		
<p>① 人口減少や高齢化により民生委員さんの役割や負担が大きくなってきています。また、自治会未加入世帯が増える中、人選にも苦慮している状況です。</p> <p>ア 現在の民生委員さんの欠員数は。また、その対応策は。</p> <p>イ 人選は各地区の自治会に依頼されているのか。他の選考方法をしている地区があるのか。</p> <p>ウ 自治会に加入されている方のみで構成されている民生委員さんは未加入世帯の担当もしなければならないが、その不平等な状況をどう考えているのか。</p> <p>エ 民生委員さんを不審者と間違われた事案があるが、その地位や活動の重要性をどうPRしていかれるのか。</p>		市長
(2) 出雲市の認知症対策について		
<p>① 年々増えてきている認知症。65歳以上の人は10人に1人はその症状があるといわれています。認知症対策について伺います。</p> <p>ア 出雲市で認知症と診断されている人数。内、若年性認知症数は。</p> <p>イ 介護と医療の連携体制の構築状況。</p> <p>ウ 住み慣れた地域で可能な限りの生活を続けていくための具体的な方策。(現状の地域密着型サービスで十分対応できると考えているのか。)</p> <p>エ 認知症ケアパスの普及啓発状況と見直し。</p>		市長
(3) 新教育長の思い		
<p>① 出雲市では本年5月から教育委員長と教育長を一本化した新制度に移行されました。</p> <p>ア 新教育長に下記についての所感と決意を伺います。</p> <p>a 確かな学力の定着と向上。</p> <p>b 体力の向上と推進。</p> <p>c ICTの教育現場への導入と活用。</p> <p>d 特別支援教育の充実。</p> <p>e いじめ問題等への取組。</p>		教育長

質問者	5	川 光 秀 昭	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求める者	記 事
(1) 介護保険の運用について		市長	
<p>① 出雲市の65歳以上（第1号被保険者）の介護保険の月額基準額は全国平均よりも高額ですが、これについて伺います。</p> <p>ア 保険者（出雲市）が介護保険料金を決定する方法（要素）、頻度</p> <p>イ 介護保険料は一般的に増加傾向にありますが、保険者としてその解釈</p> <p>ウ 地域支援事業制度改正が介護保険の運用に与える影響</p> <p>エ 介護保険料の減額</p>			

質問者	16	原 正 雄	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 十間川・保知石川の改修について		都市建設 部長	
① 十間川の改修の見通しについて ア 現計画区間 イ 上流区間の測量及び計画の策定着手時期 ② 保知石川の改修の見通しについて			
(2) 幼稚園の預かり保育の実態について		子ども未来 部長	
① 預かり保育を実施している幼稚園で実施している預かりの時間が異なっているのは何故か。 ② 実施時間の14:30～16:30の幼稚園が時間延長した場合、人員の配置等対応は可能か。また、市の負担はどうなるのか。 ③ 保育園の受け入れが飽和状態と聞くが、幼稚園で対応も考えられると思いますが、取り組んでおられるのか。そのお世話は誰が行っているのか。			

質問者	6	児 玉 俊 雄	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求める者	記 事
(1) 集落支援事業について		市長	
① 集落応援隊の近年の派遣実績（回数、場所）を伺う。 ② 集落応援隊の登録数の推移を伺う。 ③ 事業開始から8年目を迎えているが、これまでの成果及び課題と今後の方針を伺う。			
(2) 高齢者外出支援事業及び福祉バス運行事業について		市長	
① 高齢者外出支援事業は現在3地域で実施されているが、事業内容について主な相違点を伺う。 ② 高齢者外出支援事業に対する3地域及び市の評価は。 ③ 福祉バス運行事業は現在2地域で実施されているが、同様に相違点を伺う。 ④ 福祉バス運行事業に対する2地域及び市の評価は。 ⑤ 5地域で実施されている上記の事業について、今後どのように方向付けをされるのか伺う。			
(3) 観光振興施策について		経済環境 部長	
① 地域が誇る観光スポットの箇所数の推移及び当該事業費の内訳と推移、成果を伺う。 ② 中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会など市が会費または負担金を支出している広域観光団体におけるインバウンド関連の情報発信事業の概要及び事業費を伺う。 ③ 観光大使の市内、県内、県外別の人数とその推移を伺う。また、著名な観光大使を紹介していただきたい。			

質問者	11 湯 浅 啓 史		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求める者	記 事
(1) 出雲市長選挙、出雲市議会議員選挙について			
<p>① 今回の出雲市長選・市議会議員選挙は、投票率がいずれも63%台であった。 出雲市にとっては、18才以上が選挙権を得てからはじめての市長選挙、市議会議員選挙であった。</p> <p>ア 投票率に関する分析と見解</p> <p>a 年代別の投票率について公表が可能か</p> <p>b 20才未満の投票率はどうだったか</p> <p>c 投票所数、ポスター掲示場数を削減したことは投票率低下に影響を与えなかったか</p> <p>d 告示日、投票日の設定が投票率低下に影響を与えなかったか</p> <p>イ 投票率の向上に関する方策</p> <p>a 他市で例のある、ショッピングセンター内や駅構内での投票所設置は今後に向けて検討をしないのか</p> <p>b 他市で例のある、移動投票所の運用は今後に向けて検討をしないのか</p>		市長	
(2) 雇用創出と人材不足について			
<p>① 出雲市は企業誘致を含む雇用創出策を推進し実績を積み重ねている。また、大手ショッピングセンターや大手資本のロードサイド店の進出なども進み、働く場の確保は進んでいる。</p> <p>一方、地場の中小企業、小規模企業は深刻な人材不足に陥っている現状がある。</p> <p>ア 高校生の動向</p> <p>a 高校卒業時に市外へ流出する実数、割合</p> <p>b 高校卒業時に県外を就職先とする場合、主な業種は何か</p> <p>イ 現状分析と人材確保策</p> <p>a 深刻な人材不足に陥っている業種</p> <p>b 新卒時に有効な人材確保策は何か</p> <p>c I、U、Jターンを促進する取り組みはどのようなものがあるか</p> <p>d 就職フェアしまね in 出雲の開催実績と効果の検証</p> <p>e インターンシップ制度の現状と今後の方針</p>		市長	

質問者	2 玉 木 満		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 消防団と地域防災のあり方について			
<p>① 年々上昇する消防団員の被雇用者率について。</p> <p>ア 消防団協力事業所制度以外に、事業所の理解を得る活動を行っているか。</p> <p>イ 就業形態の複雑化に伴い、防災力の低下が懸念されないか。</p> <p>ウ 防災力を補う、消防協力組織の現状について伺う。</p> <p>② 消防団活動を理解してもらうために。</p> <p>ア 消防団員に対する支援。</p> <p>イ 活動を支える家族に対しての支援。</p> <p>ウ 消防団活動に対する理解向上に向けた取り組み。</p>		消防長	
(2) 平田スポーツ公園陸上競技場の公認更新について			
<p>① 日本陸上競技連盟から公認を受けている平田スポーツ公園陸上競技場は、来年の平成30年4月30日を以て有効期間が満了となり、公認更新しないと説明を受けた。</p> <p>ア 更新しないことになった経緯を改めて説明いただきたい。</p> <p>イ 地域住民を始め、市民へ十分な周知がなされていたか。</p> <p>ウ 平田スポーツ公園陸上競技場の今後は、どのような計画か。</p> <p>② 公認が取り消されることに伴い、大会を開催しても公式な記録として残らない。</p> <p>ア 電気計時システム、ナイター設備及び管理棟のある陸上競技施設を市で所有していることは、生涯学習や人材育成に有益であると考えがどうか。</p> <p>イ 約半世紀に渡って陸上大会を開催し、競技力の底上げに努めてきた関係者に十分な配慮がなされているか。</p> <p>ウ 市内には県立の陸上競技場があるが、シーズンは占有が難しい状態である。検討中の新体育館建設に、陸上競技場を併設する考えはないか。</p>		市長	

質問者	1 2 神 門 至		答 弁 を 求 め る 者	記 事
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容				
(1) 旧斐川町との合併協定書における進捗状況について			市長	
<p>① 平成24年6月27日に「東日本大震災による被害を受けた合併市町村に係る地方債の特例に関する法律の一部を改正する法律」が施行されたことに伴い、合併市町村が新市建設計画に基づいて行う公共的施設の整備事業等に要する経費に充てるための地方債（合併特例債）の発行期間が5年間延長されました。こうした経過を踏まえ、市では、新市建設計画の期間を延長されています。</p> <p>そこで、以下のことについて、市の考えをお伺いします。</p> <p>ア 平成23年10月に旧斐川町との編入合併がなされ5年半余りが経過しました。その後、合併協定書に基づいて新市建設計画が策定されていると考えます。その進捗状況及び成果、今後の考え方についてお伺いします。</p>				
(2) 出雲いりすの丘公園について			副市長	
<p>① 市は、出雲いりすの丘公園が休園状態となった平成19年度以降、再生方針や地権者との協議など、様々な角度から再生に向けての検討がなされていると考えます。しかし、市民の皆様からは、「それで、出雲いりすの丘はどうなっているの。どうなるの。時間とお金の無駄じゃない。」など、市の対応に疑問視する声も少なくありません。</p> <p>そこで、以下のことについてお伺いします。</p> <p>ア 開園した平成12年度から今日までの維持管理費は</p> <p>イ これまでの市の取組状況と課題は</p> <p>ウ 今後の市の考え方は</p>				
(3) 横須賀市の“終活支援（サービス）”に対する市の考えは			担当部長	
<p>① 今、終活がブームになる中、墓をあらかじめ用意しても、入れないという“墓トラブル”が全国では相次いでいます。お墓を販売する会社が倒産し、金を支払ったのに墓が建たないケース。生前にお墓を準備しておいても、孤立した高齢者が多く、お墓の存在を本人以外が知らないため、結局は無縁墓地に葬られてしまうケースもあることから、自治体自ら終活サービスに乗り出し、市民が生前に希望していたお墓に入れるまで見届けるところも出てきています。</p> <p>そこで、以下のことについて、市の考えをお伺いします。</p> <p>ア 市内における“墓トラブル”の現状は</p> <p>イ 横須賀市では、無縁遺骨が増加していますが、出雲市の現状は</p> <p>ウ 横須賀市の終活支援（サービス）に対する市の考えは</p>				

質問者	3 山内英司	答 弁 を 求 め る 者	記 事
質問事項・質問内容			
(1) 乳幼児等医療費制度について			
<p>① 小中学生の医療費無料化実現を望む</p> <p>ア 市議会だよりNo. 48に掲載されています保科議員の一般質問に同意いたします。</p> <p>3月議会の一般質問 島根県内の他市は、小・中学生の医療費助成制度が充実しています。出雲市は就学前までは無料ですが、今後、小学生中学生に制度を拡充する考えはありませんか、の質問に対し子ども未来部の回答は、医療費無料化については、国全体で取り組むべきものと考えており国に要望しています、とのことでした。</p> <p>市長に伺います。小学生中学生の医療費無料化について国がとりくむことだとお考えですか。それとも出雲市がとりくむことだとお考えですか。市長の考えを教えてください。</p>		市長	

質問者	1 今岡真治	答弁を 求める者	記事
質問事項・質問内容			
(1) 人口減少、少子化、高齢化の対策について			
<p>① 少子高齢化による人口減少社会を迎え、地域コミュニティの維持が困難な地域が出てくることが予想される。出雲市においては、市街地と周辺地域（山間地域・海岸地域）でも状況が異なる中、いかに人口減少に取り組み、地域づくりを進めているか伺う。</p> <p>ア 限界集落・準限界集落の数と推移を伺う。</p> <p>イ 出雲市における合計特殊出生率を伺う。</p> <p>ウ 自治協会等からの意見・要望の取り扱い及び取り組みを伺う。</p> <p>エ 出雲市としての、各地域への人口減少・地域づくりの今後の方策を伺う。</p> <p>② 少子化の背景には、若い世代の経済的不安や子育てに対する不安感・負担感があると考ええる。若い世代が安心して家庭を築き、仕事に励み、消費を行うには、就職支援・産業支援・子育て支援は必要不可欠であると考えるが、出雲市の取り組みについて伺う。</p> <p>ア 働きたいのに働きにくい方（社会的、身体・知的、精神的な理由）が多くいらっしゃる。そういった方への就業支援を伺う。</p>		市長	
(2) 外国人住民に対する対応について			
<p>① 外国人住民は、市内企業への就業者だけではなく、その家族の方の転入も増えている。また、国籍も多様化しており、今後さらに人口も増えることが予想される。対応について伺う。</p> <p>ア 地域との交流、対応について伺う。</p> <p>イ 子供たちの保育、学校に対しての市の対応について伺う。</p>		市長	

質問者	24 板倉 一郎		答弁を 求める者	記事
質問事項・質問内容				
<p>(1) 児童クラブの充実について</p> <p>① 児童クラブの現状について、入会希望者数と入会者数の最近の状況について伺う。また、今後の見込みについて伺う。</p> <p>② 今後の児童クラブの受け入れ体制の充実の方策について伺う。</p> <p>③ 急増するニーズに対し、社会福祉法人等による運営制度の創設をされた。私は待機児童については、高齢者のみなさんの力を借りてはと考えるが、そのことについて検討する考えはないか伺う。</p> <p>④ 指導員の処遇の改善について伺う。</p> <p>ア 各児童クラブで、様々な賃金体系（月給、日給、時給、賞与）があるが、その実態について伺う。年間所得の格差についても伺う。</p> <p>イ 同一労働、同一賃金を原則とし、コミュニティセンターと同様に市が、一括管理すべきと考えるが市の考えを伺う。</p> <p>⑤ 10月に委託料の見直しがおこなわれるため、苦慮している話がある。やり方を見直すべきではないか、その考えを伺う。</p>			子ども未来 部長	
<p>(2) 新たな工業団地の開発について</p> <p>① 工業団地の開発スケジュールについて伺う。</p> <p>② 魅力ある工業団地とするため、現在どのような考えがあるのか伺う。</p> <p>③ 地場中小企業の中で、工業団地へ進出したいという要望を聞いたことがある。地場企業のニーズも把握し、それに対応して行く考えはあるのか伺う。</p> <p>④ 多種多様な業種に対応するという考えは賛成である。あわせて、ビジネスマッチングや産官学連携の拠点とする考えはないか伺う。</p> <p>⑤ 工科系高等教育機関との連携について伺う。</p>			経済環境 部長	